

# 株式会社北國銀行 オンライン会社説明資料



2019年7月  
取締役総合企画部長  
鳥越 伸博



【東証第1部：8363】

本資料には、株式会社北國銀行（以下「当行」という）に関する将来の業績等の記述が含まれております。こうした記述は、本資料作成時点における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる仮定を前提としております。よって、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と異なる可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報につきましては、当行が公表する決算短信・有価証券報告書・ディスクロージャー誌等の各種資料のうち最新のものを参照ください。なお、本資料における将来情報に関する記述は、本資料の作成時点のものであり、それらの情報を随時更新するという義務も方針も有しておりません。業績予測の修正等将来の見通しの変更に関する公表につきましては、金融商品取引等の会社情報開示に関する関係法令及び上場金融商品取引所規則等に基づいて実施いたします。

また、本資料に記載されている当行以外の情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当行は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料に記載されている情報は情報提供のみを目的としており、証券の勧誘のためのものではありません。

# 本日のご説明内容（目次）

<b>1</b>	<b>北國銀行について</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>ガバナンス、資本充実と株主還元</b>	<b>18</b>
	当行の概要	2		コーポレートガバナンス体制・役員報酬制度	19
	石川県内シェア、富山県・福井県への展開	3		資本充実と株主還元	20
	当地の現状（交流人口、インバウンド）	4			
<b>2</b>	<b>当行の業績</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>参考資料</b>	<b>21</b>
	利益の推移	6		生産性向上への取組み	22
	貸出金	7		SDGsへの取組み	23
	新業務収益について	8		北國銀行の主要計数推移①	24
<b>3</b>	<b>経営戦略</b>	<b>9</b>		北國銀行の主要計数推移②	25
	北國銀行の目指す姿	10			
	法人向けコンサルティング	11			
	海外ビジネスサポート	12			
	個人向けコンサルティング	13			
	キャッシュレス社会創出に向けた取組み	14			
	カード事業の取組み状況	15			
	IT戦略	16			
	ワークスタイル変革	17			



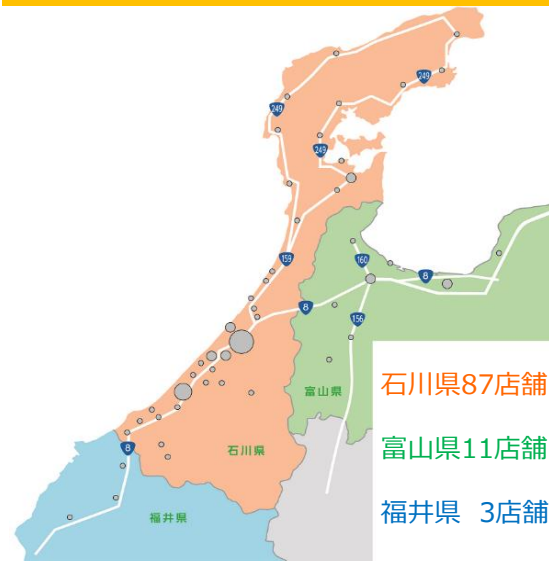
# 1. 北國銀行について

# 当行の概要

## 会社概要(2019.3月期)

名称	株式会社北國銀行
本店所在地	石川県金沢市広岡 2丁目12番6号
設立	1943年12月18日
総資産	5兆143億円
貸出金	2兆5,829億円
預金 (譲渡性預金含む)	3兆6,145億円
格付け	S&P : A- (長期) R&I : A+ (長期)
発行済 株式総数	29,110千株
関連会社	北国総合リース(株) (株)北国クレジットサービス 北国保証サービス(株) 北国マネジメント(株) 北国債権回収(株)

## 店舗ネットワーク



都市・海外支店	
東京都	1店舗
大阪府	1店舗
愛知県	1店舗
シンガポール	1店舗
海外駐在員事務所	
上海	1か所
バンコク	1か所
マネープラザ	9か所

店舗数：105店舗（内店舗内店舗：5店舗）⇒ 拠点数は100店舗

### 資金量

地方銀行64行中33位（地銀中位）

※2019.3末計数  
ニッキン調べ

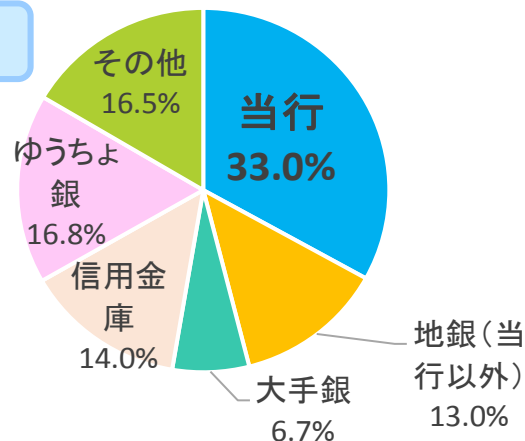


金沢駅 金沢港口にある北國銀行本店ビル  
(2014年11月完成)

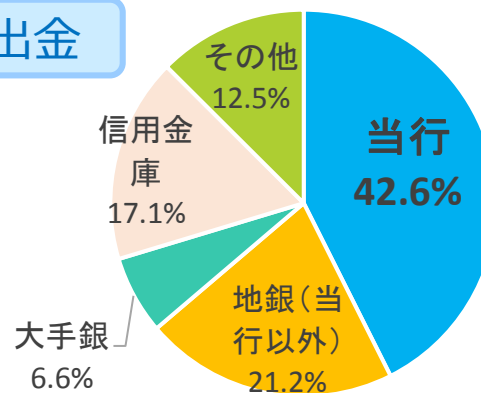
# 石川県内シェア、富山県・福井県への展開

## 石川県内 預金・貸出金シェア

### 預金



### 貸出金

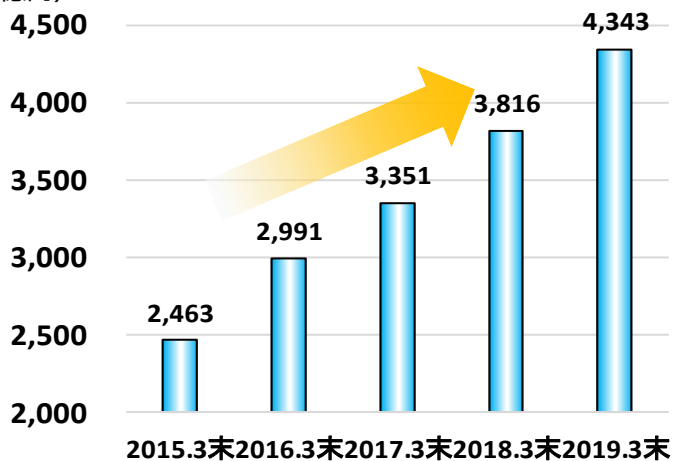


資料出所：月刊金融ジャーナル増刊号 金融マップ2019年版

## 富山県内貸出残高推移

### <総貸出残高>

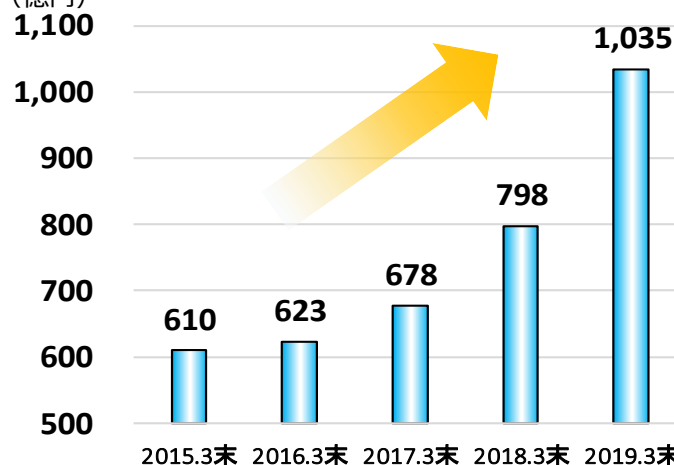
(億円)



## 福井県内貸出残高推移

### <総貸出残高>

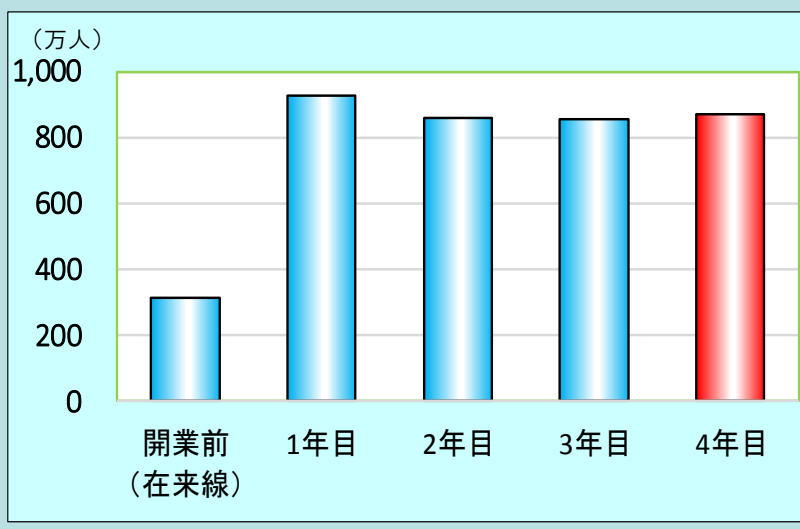
(億円)



# 当地の現状（交流人口・インバウンド）

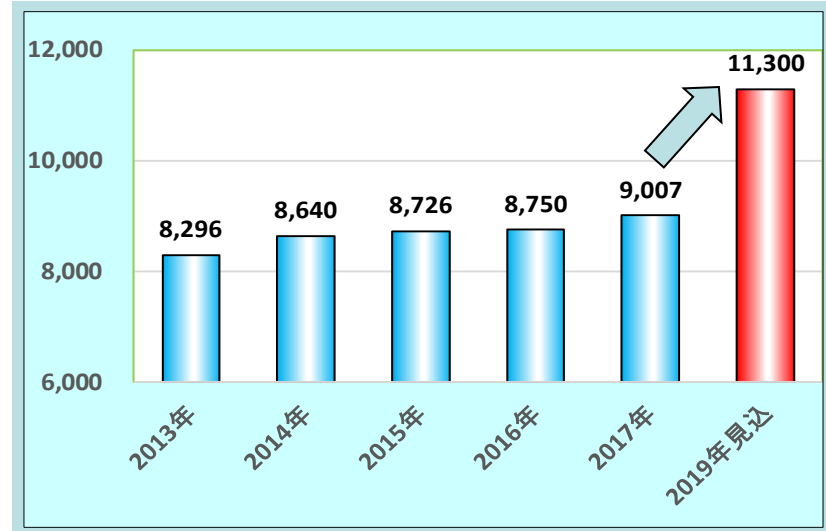
- 北陸新幹線効果は確実に継続しており、中～高価格帯のホテルも進出
- 金沢駅周辺、中心部でホテル開業が継続、2019年～20年で約2,800室の計画

○北陸新幹線利用者（金沢開業後4年目で前年比増加）



○ホテル客室数推移（金沢市）

(室)



資料出所：厚生労働省統計

○金沢市で開業予定のホテル（主なもの）

<2019年～20年>

- ・三井ガーデンホテル金沢
- ・ホテルインターゲート金沢
- ・ユニゾインエクスプレス金沢駅前
- ・ダイワロイヤルホテルD-PREMIUM金沢
- ・御宿 野乃金沢
- ・ハイアットセントリック金沢
- ・ハイアットハウス金沢 他

○ハイアットブランドは北陸初進出  
○「ハイアットハウス」は  
日本初上陸の長期滞在型ホテル



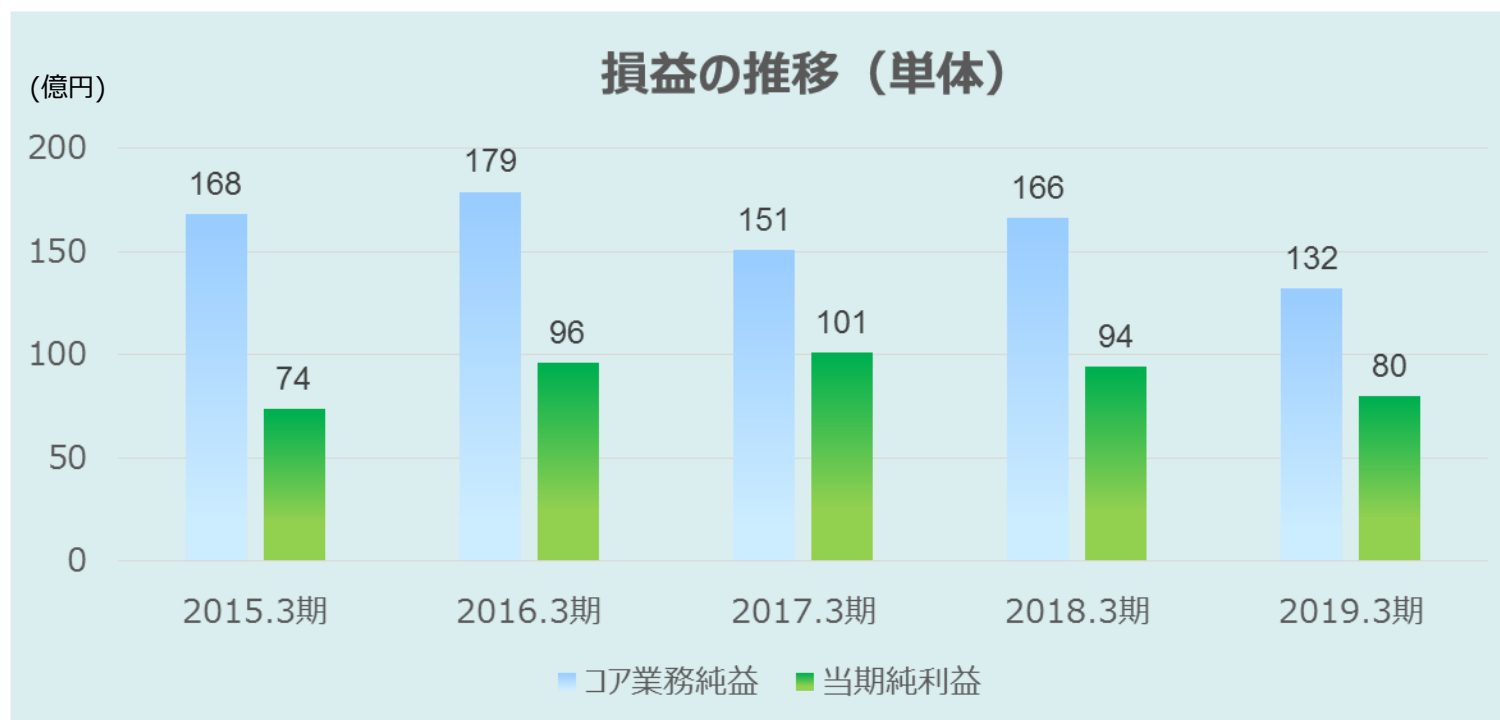


## 2. 当行の業績





# 当行の業績 ～利益の推移～



	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期
コア業務純益 (百万円)	16,856	17,974	15,142	16,694	13,253
当期純利益 (百万円)	7,459	9,629	10,107	9,479	8,023
自己資本比率 (連結)	11.72%	12.98%	12.60%	12.32%	11.78%
OHR (コア業務粗利ベース)	64.26%	61.27%	65.54%	62.93%	68.07%

# 貸出金 ～セグメント別残高・保全状況～

- 北陸地区の中小企業や個人向けの貸出が増加。中小企業向け貸出比率は73.2%と高水準。
- 不良債権の担保・保証と引当金による保全率は94.7%と地銀トップクラス。

## 規模別内訳

(億円)

	17年3月末	18年3月末	19年3月末	18年3月比 増減	18年3月比 増減率
貸出金計	23,244	24,129	25,829	1,700	7.0%
うち中小企業等	15,949	17,387	18,921	1,534	8.8%
(中小企業等比率)	68.6%	72.0%	73.2%	1.2%	—
うち中堅・大企業など	3,108	2,911	3,209	298	10.2%
うち地公体・公社	4,187	3,831	3,699	△ 132	△ 3.4%

## 地域別内訳

(億円)

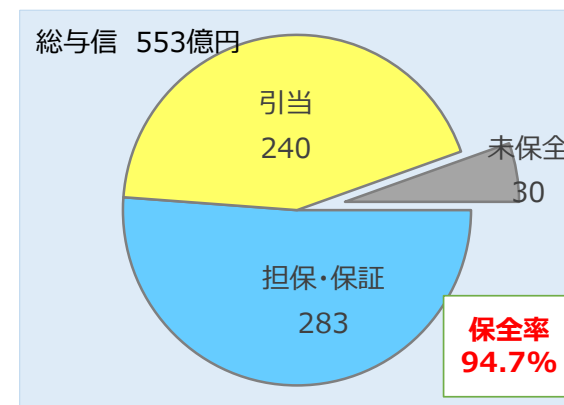
	17年3月末	18年3月末	19年3月末	18年3月比 増減	18年3月比 増減率
北陸3県合計	20,901	21,942	23,508	1,566	7.1%
うち石川県	16,872	17,327	18,128	801	4.6%
うち富山県	3,351	3,816	4,343	527	13.8%
うち福井県	678	798	1,035	237	29.6%
その他	2,343	2,187	2,321	134	6.1%

## 属性別内訳

(億円)

	17年3月末	18年3月末	19年3月末	18年3月比 増減	18年3月比 増減率
事業性貸出	11,375	11,796	12,686	890	7.5%
消費者ローン	7,681	8,501	9,443	942	11.0%
うち住宅ローン	7,271	8,071	9,018	947	11.7%
うちその他ローン	410	430	425	△ 5	△ 1.1%
地公体・公社	4,187	3,831	3,699	△ 132	△ 3.4%

## 不良債権の保全状況 (DCF法適用)

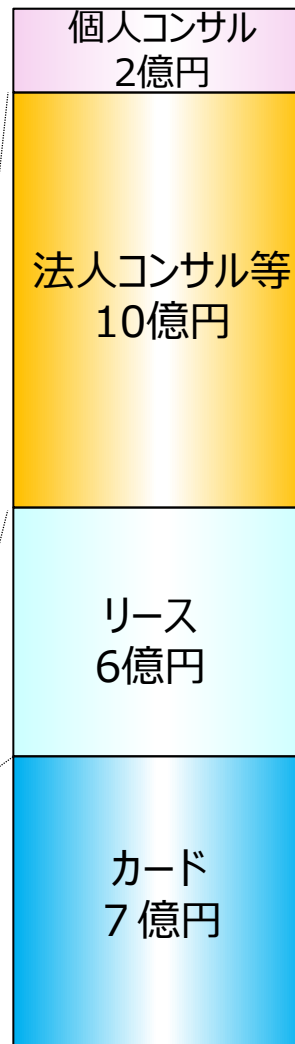


※ 2019.3末時点

# 新業務収益

## ～コンサルティング・リース事業・カード事業～

2021/3期目標  
**25億円**



### 個人向けコンサルティング

・信託業務(2018.10開始)、資産承継サービスが徐々に浸透。セミナー等でのニーズ喚起を継続。

### 法人向けコンサルティング等

・ICT・人事・経営戦略等のニーズ増加に対応。  
・コンサルティングサービスの質の向上に向け、人材育成にも注力。

### リース事業

・融資とリースのベストミックス体制を強化。  
・グループ会社（北國総合リース）との連携強化。

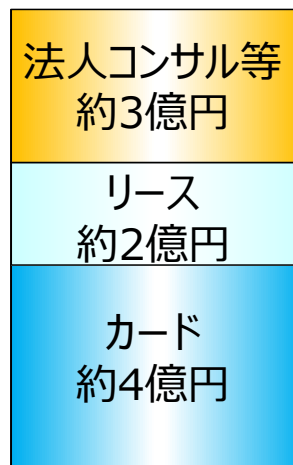
### カード事業

・デビットカード会員数、加盟店増加  
会員数 18/3期109千枚→19/3期154千枚  
→ (21/3期280千枚へ)  
加盟店 18/3期3,410台→19/3期5,537台  
→ (21/3期9,000台へ)  
・ECモール (COREZO) のオープンと合わせ、地域のキャッシュレス化、生産性向上に貢献。

2019/3期実績  
**約12億円**



2018/3期実績  
**約9億円**





# 3. 経営戦略



# 経営戦略 ～北國銀行の目指す姿～

## 地域経済を取り巻く環境は厳しく、北國銀行は「顧客志向」の深化へ

人口減少による  
市場縮小

人口減少による  
労働力不足

国の財政状況の  
深刻化

マイナス金利

価値観の多様化

地域経済を取り巻く環境

### ① 強靱な経営体質 の構築

- 戦略的な効率化、生産性向上の実現  
例) 店舗統廃合  
本部集中化  
生産性2倍運動  
ペーパーレス化

### 当行の目指す姿

**Next Regional  
Commercial Bank  
(次世代版 地域商業銀行)**

景気に左右されず  
地域と共に歩む  
メインバンク

総合的・多面的な  
ソリューション

### ② フィービジネスの実現

- ファイナンスリース、カード・加盟店業務の取組強化

### ③ コンサルティング (融資 + 付加価値)

- 100名の本部コンサルティングチームによる、企業のライフステージに応じたニーズ対応（創業・医療・介護・海外・ICT・M&A・経営改善・事業承継・再生ファンド等）

不景気を乗り切る商業銀行としての  
レジリエンス（耐久力）【収益&コスト】

# 経営戦略 ～法人向けコンサルティング～

～当行のコンサルティングの考え方～

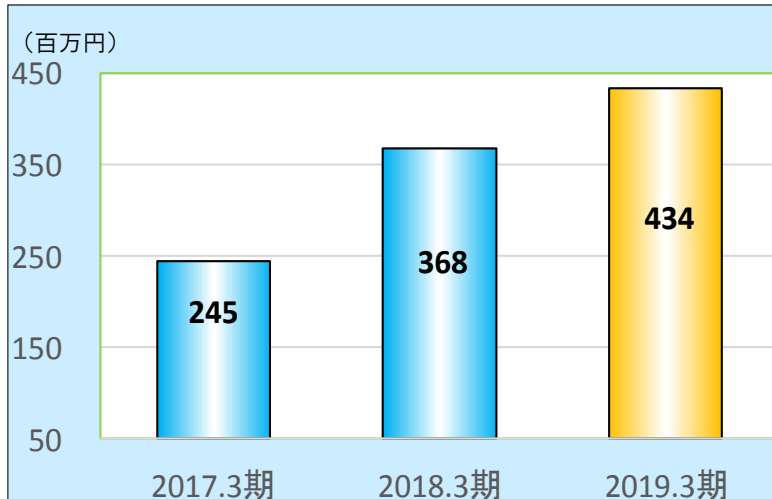
- ・ お客さまの課題解決能力の向上をサポートすることが「お客さまの経営力向上⇒地域活性化への貢献」につながる
- ・ 迅速かつ高品質のサービス実現のため、100名の専門部員が営業店と一体となりサポート
- ・ コンサルティングの質の向上と、数多くの多様なニーズにお応えするべく人材育成を強化

事業性理解

課題抽出・共有

課題解決

## コンサルティング業務 契約金額



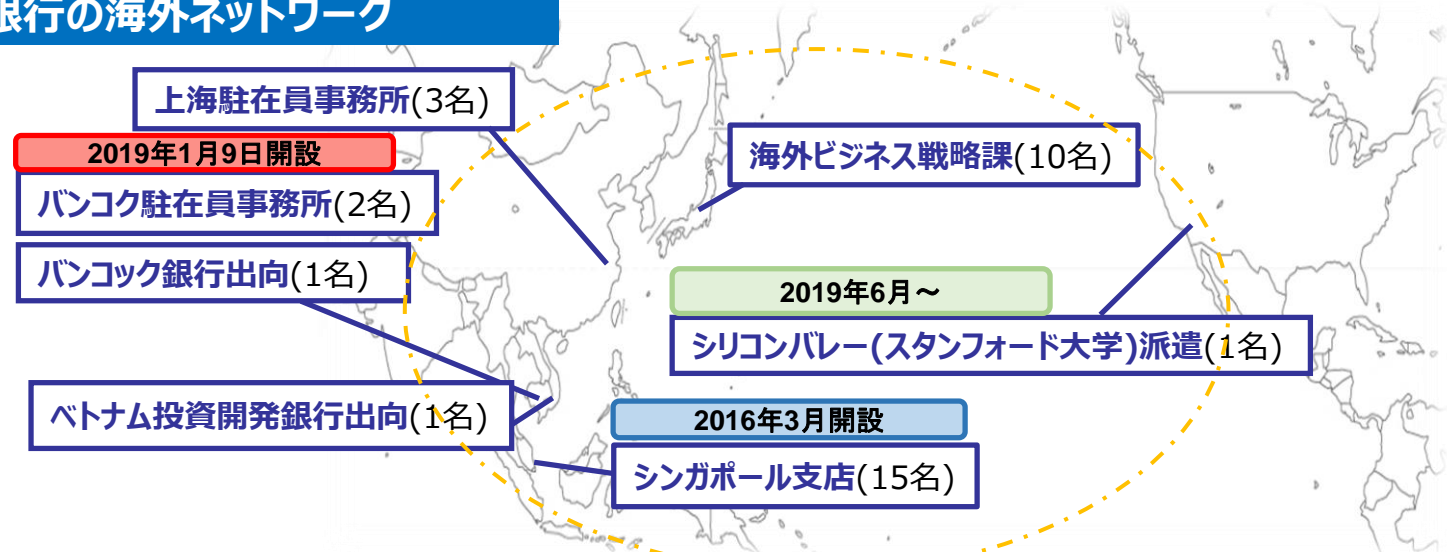
## 主なコンサルティングメニュー

経営戦略	事業承継・資本戦略	M&A
業務効率化	経営強化	ICT
人材育成	人事制度	退職金制度
ビジネスマッチング	不動産	海外展開
創業	医療・介護	補助金

# 経営戦略 ～海外ビジネスサポート～

- 2019.1 タイでの顧客サポート体制強化のため、バンコク駐在員事務所を新設
- 2019.6 米国西海岸・シリコンバレー（スタンフォード大学）へトレーニー派遣
- 海外拠点を有する強みを活かした金融サービスの提供と販路開拓等のコンサルティング

## 北國銀行の海外ネットワーク



## 北國銀行の海外ビジネスサポート



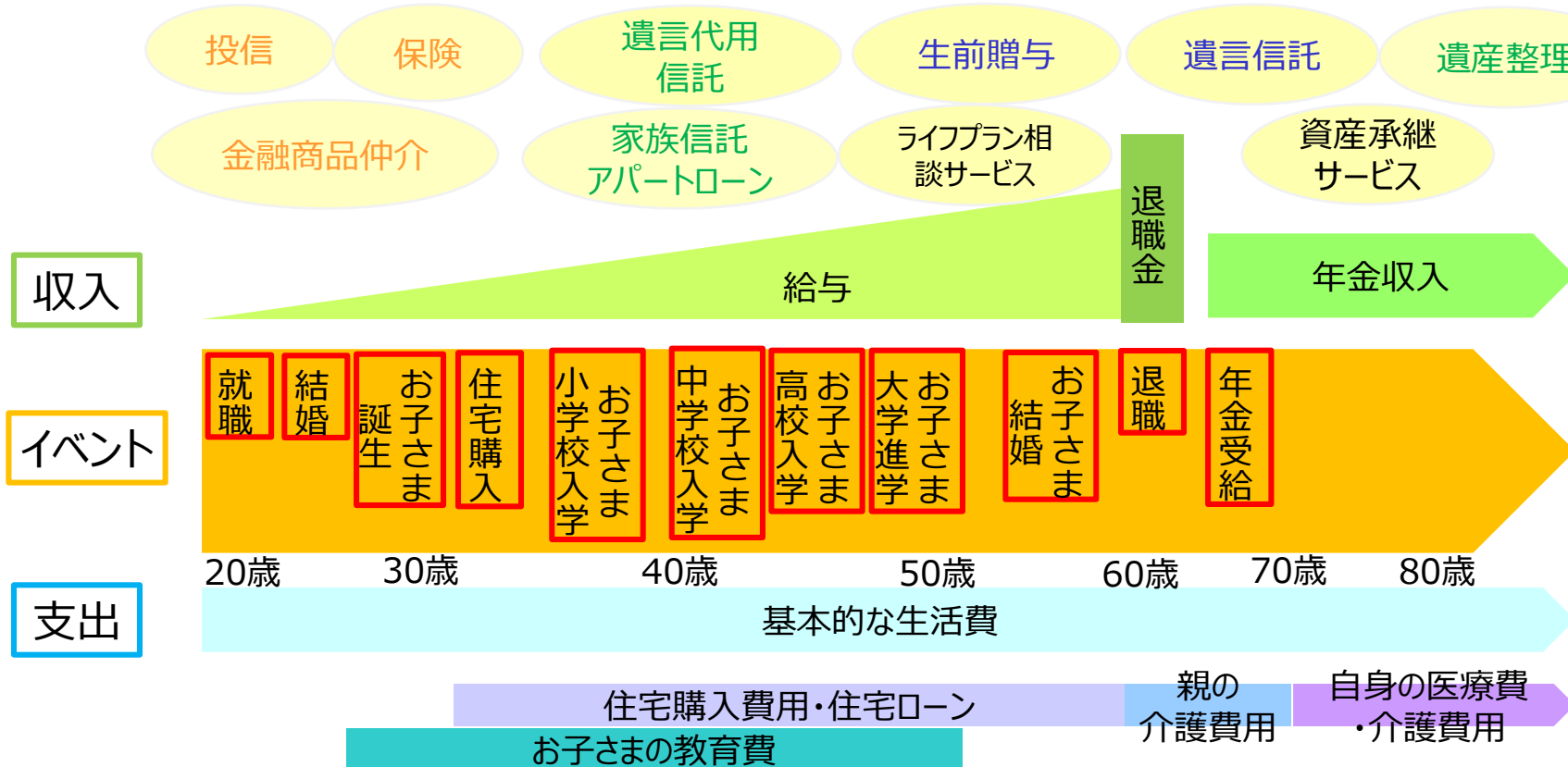
## 海外販路開拓コンサルティングのこれまでの実績

契約件数	55件（食品、伝統工芸など）
成約件数	約90件（現地レストランへの納入成約等）

（2016年7月～2019年4月の実績）

# 経営戦略 ～個人向けコンサルティング～

- お客様のライフステージ、悩み、ニーズに合わせて最適なアドバイスとサービスを提供
- 顧客起点のコンサルティング、「人生伴走型のコンサルティング」に取り組む



人生伴走型のコンサルティングに取り組む



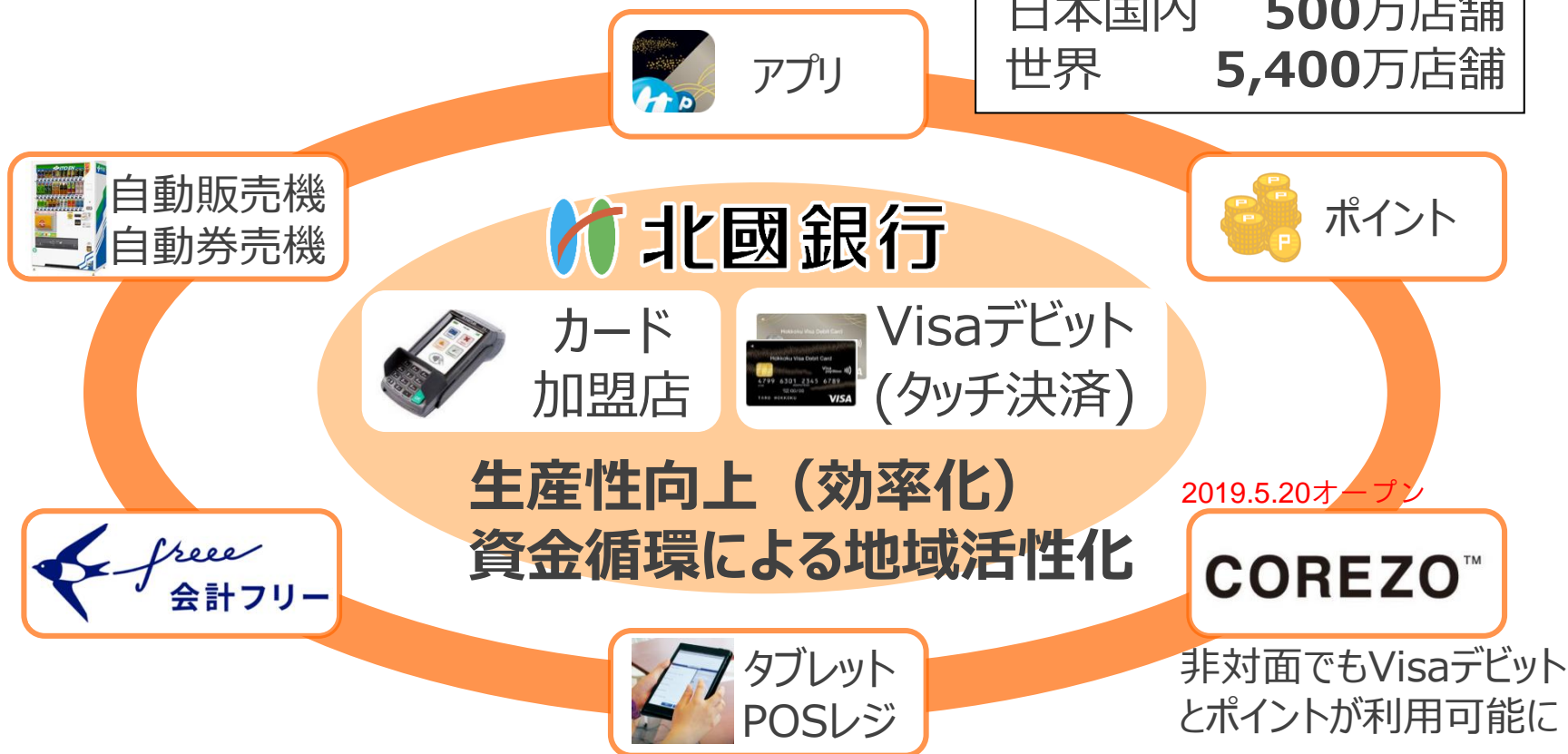
# 経営戦略 ～キャッシュレス社会創出に向けた取組み～ 北國銀行

- 地域のキャッシュレス化のための基盤を創出、資金循環による地域活性化に貢献
- 銀行本体で加盟店端末・デビットカードの両方を提供することで、スピード感のある事業展開が可能に

## ■「どこでも使える」カード環境の構築

※Visaカード利用可能店舗

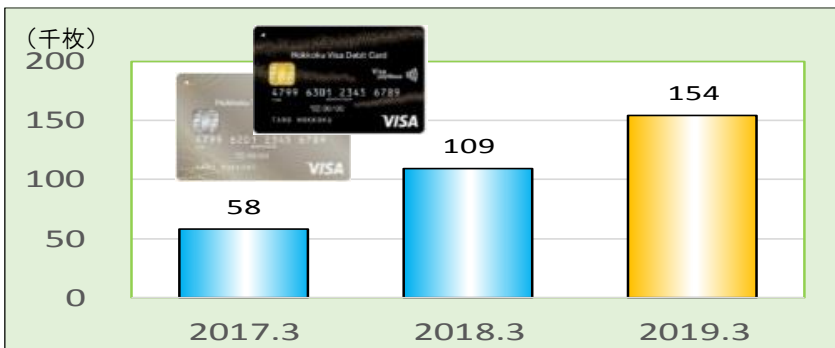
日本国内	500万店舗
世界	5,400万店舗



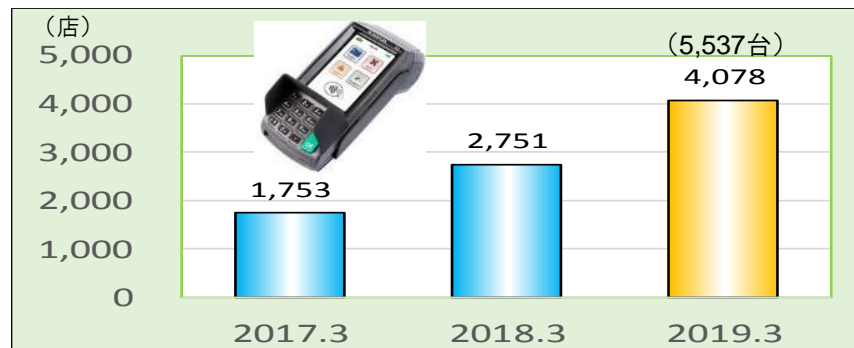
# 経営戦略 ～カード事業の取組み状況～

- 当行が自らカード加盟店業務を担うことで、小規模事業者がコストメリットも享受でき、当地のキャッシュレス環境は着実に広がりを見せている

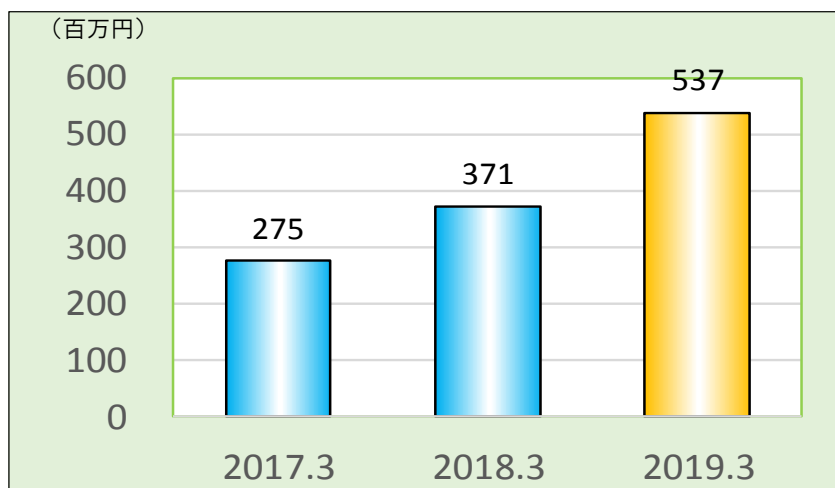
## デビットカード発行枚数（累計推移）



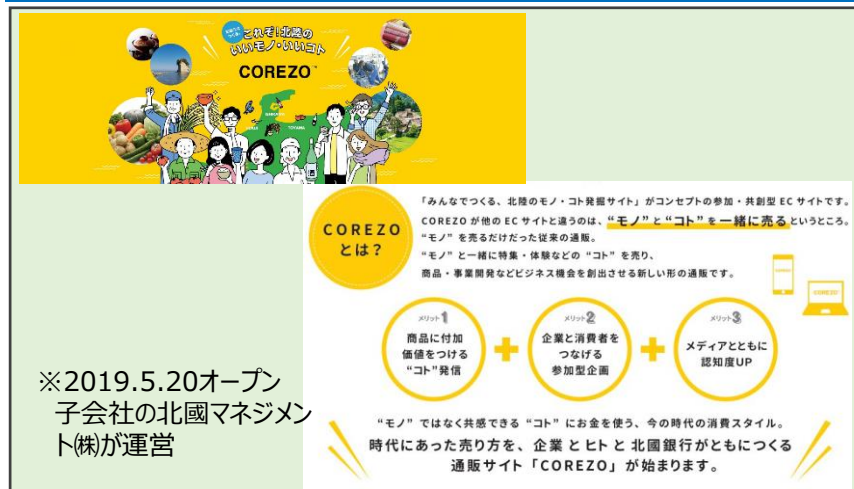
## カード加盟店数（累計推移）



## カード業務利益の推移



## ECモール（COREZO）



「みんなでつくる、北陸のモノ・コト発掘サイト」がコンセプトの参加・共創型 EC サイトです。COREZO が他の EC サイトと違うのは、「モノ」と「コト」を一緒に売るということです。「モノ」を売るだけだった従来の通販。「モノ」と一緒に特産・体験などの「コト」を売り、商品・事業開発などビジネス機会を創出させる新しい形の通販です。

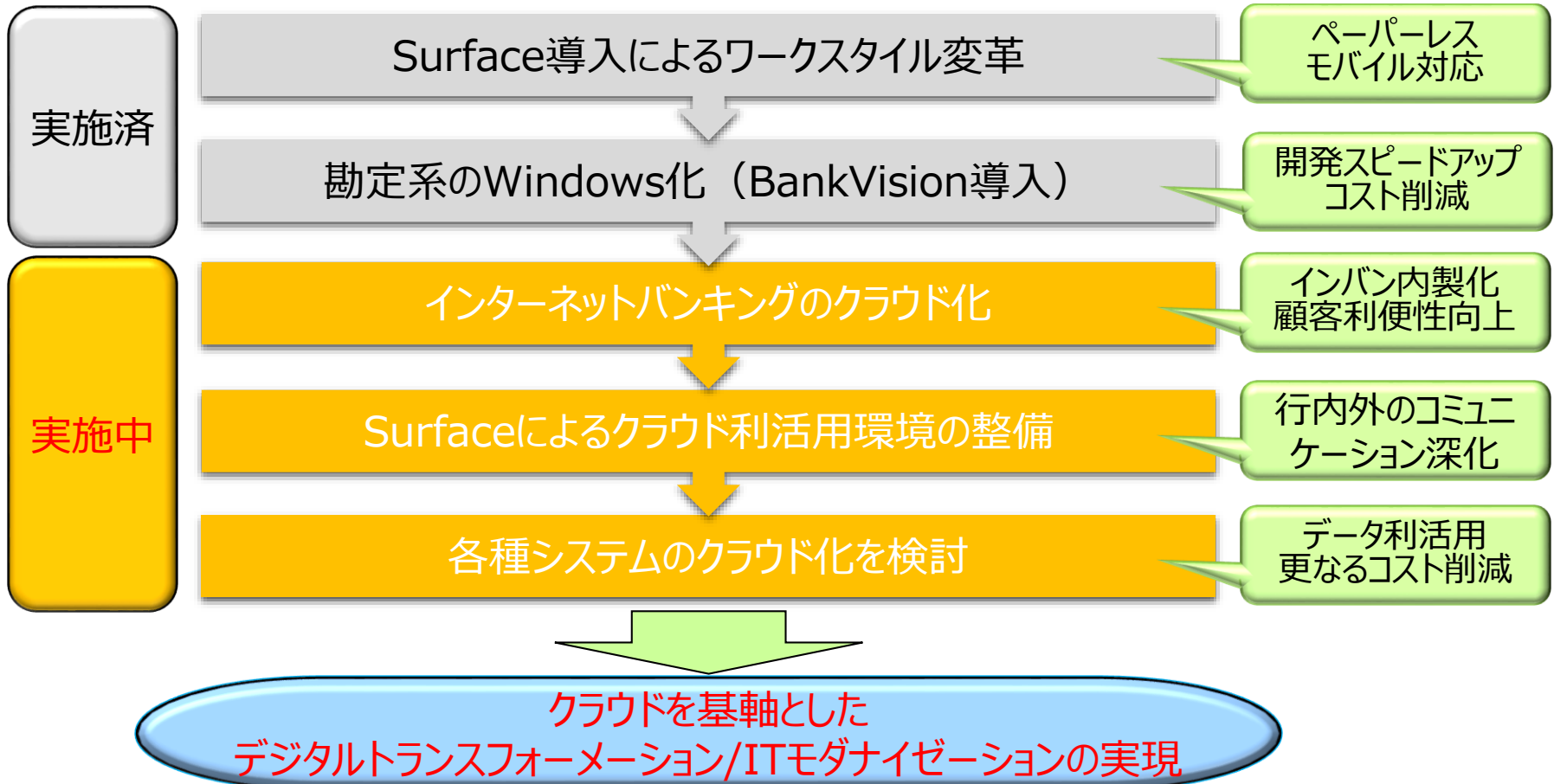
**COREZO とは？**

- 商品に付加価値をつける「コト」発信
- 企業と消費者をつなげる参加型企画
- メディアとともに認知度UP

※2019.5.20オープン  
子会社の北國マネジメ  
ント(株)が運営

「モノ」ではなく共感できる「コト」にお金を使う、今の時代の消費スタイル。時代に合った売り方を、企業とヒトと北國銀行がともにつくる通販サイト「COREZO」が始まります。

- 「真の顧客主義の実現」のためには、ビジネスモデルの再構築が必要
- 差別化を図るためには、デジタルトランスフォーメーションが必要
- 下支えのためには、既存ITのモダナイゼーションが必要



# 経営戦略 ～ワークスタイル変革～

生産性向上を目指して10年前から取組開始

- ① 仕事の効率化、見える化、ペーパーレス化
- ② ITツールの活用（グループウェア、Surface、無線LAN、携帯電話）

○2014年11月新本店に移転

## オフィス風景①



- 無線LANを導入、オープンプラを実現
- 机に引き出しは必要なし

## オフィス風景②



- 行員の机には端末と電話のみ
- 行員同士の顔が見えやすくなり、コミュニケーションが活性化

## オフィス風景③



- 会議は各自端末を持参し、完全なペーパーレスで
- Lyncを利用し遠隔会議も可能

いろいろな効果が表れた

- 残業時間の短縮（ピークの10分の1以下に）
- 女性が働きやすい環境
- 資格試験合格者の増加
- 高ストレス者の減少



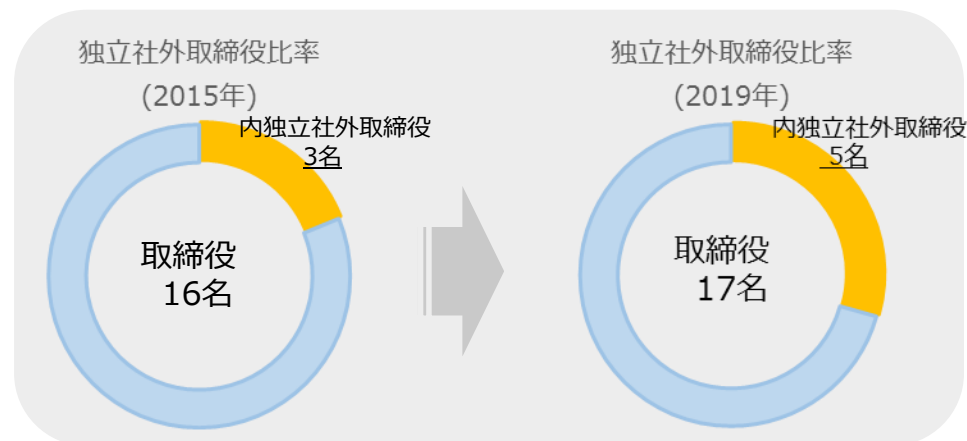
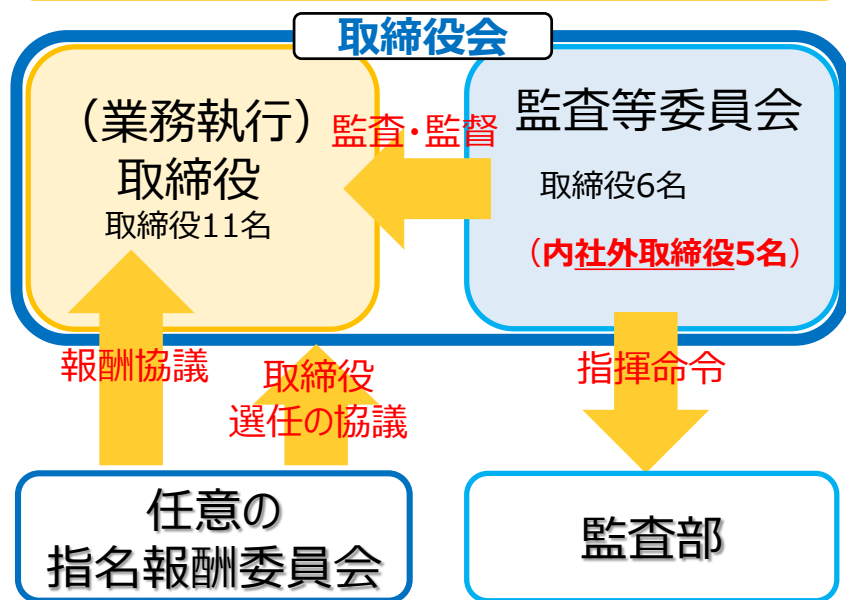
# 4. ガバナンス・ 資本充実と株主還元

- 社外取締役の経営参画により、業務決定プロセスの透明性向上。独立社外取締役比率は29.4%。
- 当行の株式価値と取締役等の報酬との連動性をより明確にできる制度を選択。

### コーポレートガバナンス体制

業務執行決定の一部を取締役に委任

→取締役会では経営戦略について建設的な議論を図る



	2015	2016	2017	2018	2019
取締役 (人)	16	16	17	17	17
社外取締役 (人)	4	4	4	4	5
内 独立社外取締役 (人)	3	3	3	3	5
独立社外取締役比率 (%)	18.7	18.7	17.6	17.6	29.4

### 役員報酬制度

監査等委員でない取締役  
執行役員

月額報酬+業績連動型報酬+株式交付信託

※現在の役員報酬構成比 6 : 2.2 : 1.8

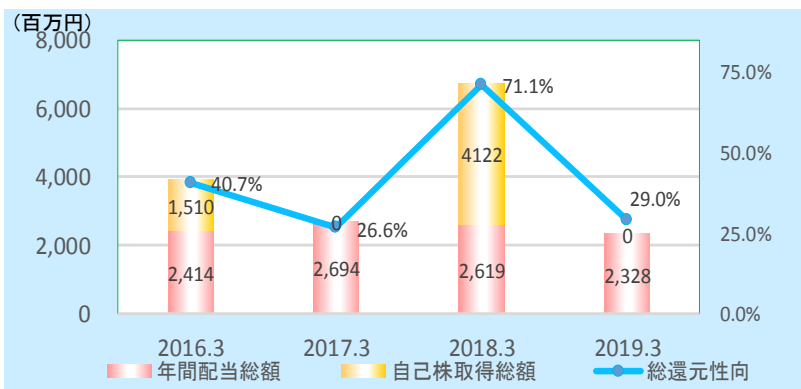
監査等委員である取締役

月額報酬のみ

# 資本充実と株主還元

- 安定配当（年間60円）＋業績連動配当をあわせた配当性向は25～30%を目途
- 自己株式取得・消却は継続的に検討
- 毎年3月31日現在で300株以上かつ2年以上継続して当行株を保有している株主さまに地元北陸の特産品または北國Visaデビットカードポイントを贈呈

## ○配当額等の推移



	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3予想
1株当たり年間配当額	8円00銭	9円00銭	90円00銭 ※	80円00銭 ※	70円00銭
自己株式取得	5,000千株	-	850千株 ※	-	
配当利回り（配当/期末株価）	2.70%	2.12%	2.17%	2.30%	
1株当たり純資産額	754.42円	803.92円	8,857.72円 ※	8,902.33円 ※	-
株価純資産倍率（PBR）	0.39倍	0.52倍	0.46倍	0.38倍	-
期末株価	296円	423円	4,135円	3,470円	-

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合いたしました。2018.3期および2019.3期実績については併合後として記載しております。

## 株主優待の内容

保有株数	優待商品
300株以上1,000株未満	3,000円相当の商品
1,000株以上	8,000円相当の商品

## 株主優待商品の一例



能登牛 うす切焼肉



ルビーロマン



JAS 有機こしひかり



北國Visaデビットカードポイント

# 5. 参考資料





# 生産性向上への取組み

- 収益環境は大きく変化し、資金利益の減少を業務効率化等による経費削減で補填

	1999年3月期	2009年3月期	2019年3月期	増減 (1999/3→2019/3)
コア業務粗利益	528.5億円	498.5億円	415.0億円	△113.5億円
資金利益	481.9億円	431.4億円	355.5億円	△126.4億円
役務利益	43.5億円	63.3億円	56.0億円	12.5億円
経費	350.0億円	334.4億円	282.5億円	△67.5億円
コア業務純益	178.4億円	164.0億円	132.5億円	△45.9億円
預金	24,784億円	27,940億円	35,438億円	10,654億円
貸出金	20,233億円	21,623億円	25,829億円	5,596億円
貸出金利回り	2.28%	1.95%	1.06%	△1.22%
有価証券利回り	3.39%	1.44%	1.31%	△2.08%
預金利回り	0.44%	0.28%	0.01%	△0.43%
経費率	1.47%	1.19%	0.81%	△0.66%
拠点数	149店舗	123店舗	100店舗	△49店舗
			店舗内店舗5店舗 ⇒支店数105店舗	
行員数	2,436人	2,029人	1,787人	△649人



# SDGsへの取組み～CSR基本方針～



CSR基本方針に基づく本業を含む様々な企業活動を通じ、地域社会の持続的な発展に貢献 ⇒ SDGs（持続的な開発目標）の達成へ

## CSR基本方針

### ① 時代と共生する金融サービス

・地域社会との共有価値の創造につながる金融サービスの提供

- ▶ コンサルティング機能の発揮
- ▶ キャッシュレス社会創出への貢献
- ▶ 地域経済の持続的な成長への貢献



### ② 明日を支える存在へ

・柔軟で時代の変化に対応できる組織態勢・企業風土の醸成

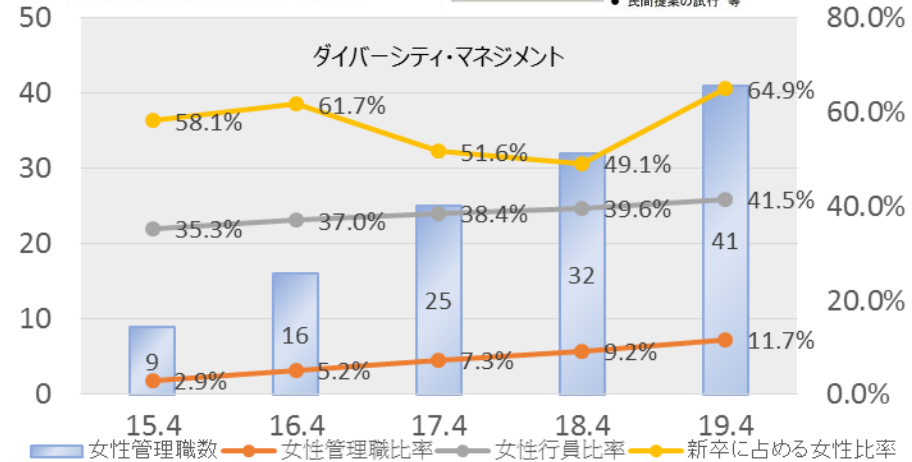
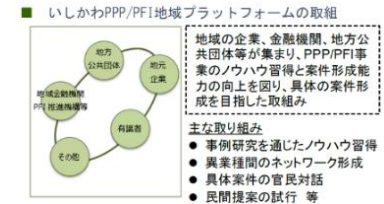
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ ダイバーシティ・マネジメント
- ▶ ワーク・ライフ・バランス



### ③ 地域のために

・次世代に向けた環境・教育等の支援  
・地域社会との接点強化

- ▶ 地域の金融リテラシー向上支援
- ▶ 環境に配慮した取組み
- ▶ 社会貢献を通じた地域との接点強化
- ▶ スポーツを通じた地域貢献



# 北國銀行の主要計数推移①

(百万円)

損益の推移（単体）		2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	前年比
業務粗利益		52,403	48,043	44,004	43,911	42,882	△ 1,029
〈除く債券関係損益（5勘定戻）〉		(47,162)	(46,414)	(43,949)	(45,041)	(41,509)	△ 3,532
資金利益		40,887	40,881	38,457	39,197	35,556	△ 3,641
役務取引等利益		5,957	5,186	5,071	5,332	5,604	272
その他業務利益		5,558	1,975	475	△ 618	1,722	2,340
うち債券関係損益（5勘定戻）		5,240	1,628	55	△ 1,129	1,372	2,501
経費	(△)	30,306	28,439	28,806	28,346	28,256	△ 90
人件費		14,748	14,445	14,284	14,441	14,372	△ 69
物件費		13,376	12,131	12,702	11,958	12,004	46
税金		2,181	1,862	1,819	1,946	1,879	△ 67
コア業務純益		16,856	17,974	15,142	16,694	13,253	△ 3,441
一般貸倒引当金繰入額	① (△)	2,871	335	1,037	△ 469	203	672
業務純益		19,225	19,267	14,160	16,034	14,422	△ 1,612
臨時損益		△ 2,070	△ 2,628	△ 140	△ 1,293	△ 1,642	△ 349
うち株式等損益（3勘定戻）		2,841	2,841	378	1,636	1,309	△ 327
うち不良債権処理額	② (△)	5,995	5,949	754	2,095	3,062	967
うち償却債権取立益	③	1,216	555	692	63	69	6
経常利益		17,155	16,638	14,020	14,741	12,780	△ 1,961
特別損益		△ 2,764	△ 770	△ 333	△ 629	△ 710	△ 81
税引前当期純利益		14,390	15,868	13,687	14,112	12,070	△ 2,042
当期純利益		7,459	9,629	10,107	9,479	8,023	△ 1,456

# 北國銀行の主要計数推移②

(億円、%)

平残、利回等	2015.3期		2016.3期		2017.3期		2018.3期		2019.3期		前期比	
	平残	利回	平残	利回	平残	利回	平残	利回	平残	利回	平残	利回
うち貸出金	23,599	1.28	23,208	1.27	22,867	1.23	23,456	1.13	24,655	1.06	1,199	△ 0.07
うち有価証券	10,224	1.15	10,299	1.21	9,899	1.19	9,803	1.52	10,080	1.31	277	△ 0.21
うちコールローン等	837		5,090		5,441		7,752		10,676		2,924	
運用勘定合計	34,660	1.22	38,597	1.10	38,208	1.06	41,012	1.03	45,412	0.88	4,400	△ 0.15
うち預金	30,325	0.02	30,326	0.02	31,135	0.01	32,507	0.01	33,833	0.01	1,326	0.00
うち譲渡性預金	1,296	0.05	1,189	0.04	1,031	0.02	1,036	0.02	919	0.01	△ 117	△ 0.01
うちコールマネー等	3,182		5,971		5,161		7,528		10,704		3,176	
調達勘定合計	34,803	0.04	37,486	0.05	37,327	0.05	41,071	0.07	45,458	0.10	4,385	0.03

(%)

	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	前期比
総資金利鞘	0.31	0.30	0.24	0.27	0.16	△ 0.11
預貸金利回差	1.26	1.25	1.22	1.12	1.05	△ 0.07
経費率	0.95	0.90	0.89	0.84	0.81	△ 0.03
OHR (コア業務粗利ベース)	64.26	61.27	65.54	62.93	68.07	5.14
ROA (当期純利益ベース)	0.19	0.23	0.24	0.20	0.16	△ 0.04
ROE (当期純利益ベース)	3.32	4.17	4.33	3.81	3.12	△ 0.69



**御清聴ありがとうございました**